

人権教育

かけがえのない自分・・・自己肯定感を育てましょう。

- 自己肯定感とは、自分自身をかけがえのない存在として、そのまま、あるがままに認めることができる肯定的感覚のことをいいます。
- 自己肯定感とは、自己を高めようとする向上心や達成意欲、日常直面する問題に対して、前向きに解決していくためのエネルギーになります。
- 自己肯定感とは、他者との協調的・共感的な関係の中で育まれます。教師からの温かい言葉かけは子どもに安心感を与え、教師の細やかな配慮は子どもの心に思いやりの種をまきます。一人ひとりの成長を認めた励ましは子どもの自己肯定感を高めます。



校内環境づくりの工夫 ～横須賀市立船越小学校～

環境づくりの一環として、年間に3回人権全校集会を実施しました。2回目の人権全校集会で読んだ絵本をきっかけに、友だちの良いところを見つけ、掲示する「人権の木」に全校で取り組みました。記述を見合ったり、読んだ時の気持ちを話し合ったり、各学年・学級で「人権の木」を生かした実践をしました。

友だちのよいところを毎日たくさん見つけて、分かったことがあります。それは周りが笑顔になることです。

よいところをお互いに見つけていたら、いつの間にか笑顔あふれるクラスになっていました。

5年

児童の感想

自分にはこんなにいい所があったのか・・・とわかりました。いいことが書いてあると1日に10回くらい見たくまりました。

3年

また、図書室に人権関係の本をまとめた「人権図書コーナー」を設置し、子どもがいつでも人権について学べるようにし、人権全校集会で「人権に関する図書」を紹介しました。

定期的な人権集会の開催や、掲示物「人権の木」、「人権図書コーナー」等、児童が日常的に人権に親しむよう工夫された取組です。また、お互いの良さを認め合う活動を通して、人権教育の基盤である自己肯定感を育てています。

組織的・系統的な学び ～平塚市立金目中学校～

総合的な学習の時間に3年間「平和学習」をテーマとして掲げ、「主体的に学習する態度」「平和を愛する心」「他者を認める心」を養うことを目標に取り組みました。1年生の時から学習を積み上げ、平和を希求する気持ちや態度を育てています。

1年生

「横浜校外学習」

- 地球市民かながわプラザ見学を通して、様々な国の生活習慣や文化の違い、国際問題等について学んだ。
- 「朝読書」の時間に人権に関する本を読んだ。

2年生

「東京校外学習」

- 昭和館見学を通して、戦争の愚かさ、命の尊さを考えた。
- 平和に関するレポートを作成し、「平和講演会」を実施した。

3年生

「広島・京都修学旅行」

- 広島平和記念公園でのセレモニーを実施し、平和記念資料館を見学した。事後学習では3年間の総まとめとして平和学習冊子を作成した。

人権教育全体計画に基づいて、総合的な学習の時間に「平和学習」を位置づけ、学校全体で組織的に取り組んでいます。教科学習とも関連づけて、事前学習や事後学習が計画的に実施され、生徒の主体的な学びが大切にされています。